



## 教室の窓から 2年1組

昨日11日(水)の3間目の教室を窓から見ていると、2年1組で学級会が行われていました。話合いの議題は、「なかよし ちきゅうしゅうかい をしよう」です。提案理由を要約すると「音楽集会や係の仕事は助け合ってきました。しかし、自分勝手な行動や思いやりのない言葉を見たり聞いたりします。そこで『なかよし ちきゅうしゅうかい』をすることで学級目標の『なかよしいっぱい』に近づけると言うからです。」という内容でした。話し合うことの一つ目「みんなでする遊びを決めよう」では、「フラフープおくり」「はないちもんめ」「ずいずいずっころばし」の3つを原案として示し、その遊びを提案理由と照らして、賛成・反対意見を言いながら、どの遊びが「なかよしいっぱい」に近づけることができるか比べ合っていました。「『はないちもんめ』がいいと思います。わけは、チームのみんなと力を合わせてがんばれるからです。」「『ずいずいずっころばし』がいいと思います。わけは、助け合いながら誰もがあまり動かなくても楽しくできるからです。」とたくさんの意見が出ます。そして多くの賛成票を集めた「はないちもんめ」に決定しました。また話し合うことの一つ目「もっと楽しくする工夫を考えよう」では、「音楽を流すと、楽しくなってもっと『なかよしいっぱい』に近づけると思います。」など、子供たちなりに工夫が出し合われました。



2年1組が「ちきゅうしゅうかい」とネーミングされているのは、2年1組のマスコットキャラクターの「ちきゅう」からきています。このように帯西では、学級旗は、学級の目標を旗に表し、その目標に向かってクラスみんなの心を一つにするために使っています。そうすることで、子供たちも学級の問題を、常に掲げてある学級旗と照らして考えるようになり、学級会が学級の課題を解決するための話し合い活動というとても意義のある学びの時間となっているのです。

## 学校百景⑳ 高学年の窓

教室を回っていると、3階の窓にまた新たなメッセージが貼ってありました。6年生の窓には「集団宿泊教室がんばったね!」とあり、5年生の窓には「修学旅行おかげさまで!」と貼ってありました。



近年、Zoom や SNS など、様々なデジタルコミュニケーションツールが活用されています。コミュニケーションとは、「情報を伝達すること」だけではありません。高学年の窓の様に、人と人の間で、意志の疎通が行われたり、心や気持ちが通い合ったり、互いに理解し合うことができたりしてはじめて「コミュニケーションが取れた」と言えるのです。便利な時代だからこそ、アナログで相手と心を通わせることも、学校では大切にしています。